みなさんの担任の先生のお言葉集

3年生の時の担任の先生からいただいたお言葉をクラス順に掲載しました。

●3年1組　吉永祐治先生のお言葉

嘉穂高校40期の皆さん1年10組、２年４組、３年１組の担任をしていた吉永です。

私にとって嘉穂高校は、教員になって初めて勤務した、第二の母校のような学校です。嘉穂高校には、昭和59年度から平成7年度まで12年間在職していましたが、昭和60年度からの３年間を40期生の皆さんと過ごしました。私の教員生活で初めて担任をした生徒達であり、初めての卒業生である皆さんとの思い出は尽きることがありません。大将陣での歓迎遠足、諫早での宿泊研修、文化祭での合唱コンクール、クラスマッチ、運動会、セミナーハウスでの学級宿泊研修、遠足、マラソン大会、修学旅行など、実にいろいろなことがありました。互いに反発しあったこともありましたが、悪い思い出は水に流して下さい。たくさんの生徒達と出会え、知り合えてよかったと思います。楽しかったことも辛かったことも、今となってはすべてが良い思い出になっています。

高校時代は、ほとんどの生徒にとって、クラスや学年という集団で何かに取り組める最後の時期だと思います。全力で仲間と共にいろいろなものに取り組むことで、他の何にも代えがたいかけがえのないものが得られればという思いで、私は生徒達に接してきました。

高校卒業後20数年を経た現在、皆さんが、大同窓会開催のためのいろいろな活動を高校時代と同様に仲間と取り組んでいることを知り、うれしく思いました。大同窓会の成功をお祈りしています。

私は、現在も教員として中間高校に勤めています。昨年度は３年生を担任し、去年の今頃は、調査書や推薦書の作成で忙しい日々を送っていました。これからも生徒と共に過ごす時間を大切に、残り少なくなった教員生活を精一杯頑張っていこうと思っています。

（Vol.7　H26年9月発行同期会通信より(HPのみ掲載)）

●3年2組　野見山光先生のお言葉

野見山　光です。みなさん、頑張っていますか。

私はすでに教職を退職しており、自宅で過ごしています。私は3年2組の担任をしていましたが、みなさんは、高校生らしく、素直で元気でいい子ばかりでした。

大同窓会は、なかなか集まれない同期生が集まりますので、とても楽しいと思います。私も大同窓会当日はぜひ参加したいと思っていましたが、現在、体調が優れず、自宅にて療養しておりまして、申し訳ありませんが、どうしても参加できそうにありません。またいつか皆さんにお会いできることをとても楽しみにしています。大同窓会、頑張ってください。

（Vol.7　H26年9月発行同期会通信より(HPのみ掲載)）

●3年3組　塚本勉先生のお言葉

3年3組の担任の塚本です。みなさん、お元気ですか。

私は、現在、教職を退職し、自宅で読書をしながら、悠々自適に生活しています。

みなさんが在学していたころ、私はみなさんを見ていて、とても元気で、鍛えがいのある生徒だと思い、一生懸命授業を行っていました。大同窓会の準備は大変だと思いますが、とても多くの同期生が集まりますので、楽しんでもらいたいと思います。　私も当日は参加予定ですので、皆さんにお会いできることをとても楽しみにしています。

（Vol.7　H26年9月発行同期会通信より(HPのみ掲載)）

●3年4組　原田喜法先生のお言葉

3年4組の担任の原田です。8月14日に行われた嘉穂高校40期同期会に出席させてもらい、26年ぶりに再会し、楽しい時間を過ごすことができ、皆さんに感謝しています。

私は、今年の3月に定年退職をしましたが、再任用で県立八幡中央高校勤務しております。退職しても年金がまだ受給できない日本の年金制度を君たち若い人の力で何とかしてもらえないでしょうか（笑）。

11月の大同窓会にも出席させてもらう予定です。皆さんに会えることを楽しみにしています。

当番の準備等大変でしょうが、大同窓会が成功に終われますことを心より願っています。頑張れ嘉高40期！

（Vol.7　H26年9月発行同期会通信より(HPのみ掲載)）

●3年5組　松岡教知先生のお言葉（Q&A形式）

◆現在はどのような生活をされていますか？

ー　現在69歳になっており、仕事も引退している。嘉麻市内の自宅でのんびりと悠々自適な生活を送っている。

◆嘉穂高校赴任当時はどのような状況でしたか？

ー　今畑先生と一緒に嘉穂高校に赴任したのが、40期が入学した年で、その頃は40歳ぐらいだった。当時の嘉穂高校は大学の進学率など良いとは言えない状況であった。うまく指導をしていけば、もっと多くの生徒が高校入学当時の良い成績を維持して、希望の大学に進学できるはずなのにもったいないと思っていた。嘉穂高校出身の生徒はリーダーの素質を持っているし、もっとやれるはずだと思っていた。飯塚市だけではなくて、筑豊地域のリーダーの高校として地域の教育水準を高めていく必要があると強く感じていた。

◆当時、生徒にどのようなことはよく話していましたか？

ー　1年生の夏休みまでに死に物狂いで勉強するようにと言っていた。この時期をしっかり勉強して過ごすことで、その後の勉強や受験の際には大きく違ってくるので、しっかり指導した。それは先生としての責務と思っていた。また、先輩から「ニコポン」方式の指導方法を教えてもらって、自分もニコッと笑って肩をポンと叩くような指導方法に努めていた。

◆嘉穂高校勤務時に力を注いだことは何ですか？
ー　生徒への教育や指導はもちろんだが、学校内部の体制づくり、教育環境づくりに、特に力を注いでいた。伝統のある高校の教育や生徒指導方法を変えていくことには、教員間でも意見の相違があってかなり苦心した。いろいろ提案したが当初は反対されてばかりで、なかなか受け入れてもらえなかったが、少しずつ少しずつ改革していった（課外授業の受講義務化や服装検査の強化などもこれらの改善の一部ということ）。教師がきちんと生徒に指導してあげないといけないと思っていた。40 期は嘉穂高校での初めての担任だったので、特に力を注いでいたが、後輩たちにもそれらが引き継がれて良い成績を収めるようになった。
◆40 期に関することで、特に記憶に残っていることは何ですか？
ー　大将陣公園での遠足だったと思うが、理由は覚えていないが、三嶋君が怒られていたことをなぜかよく覚えている。高市君も印象深い。生徒は大体みんな顔を覚えている。男はあまり変わってないが、女は印象が変わった人が多いと感じる。
◆現在の 40 期へのメッセージ。
ー　自分が 45 歳の時は一番元気で、人に頼らず自分で仕事をしていた。40 歳代半ばはしっかりと仕事をしてほしい。年を重ねた時に、あの時もっとやっておけばよかったと思うことのないように、悔いのないように頑張ってほしい。自分なりにやればいいと思う。自分は仕事でできることはやったので思い残すような、悔いが残るようなことはない。また、先輩の知恵はすごい。「「寄らば大樹の陰」というが大樹を見つけておかないと自分一人ではできない。自分のとって優れた大樹を選ばないといけない。大樹のような先輩の話が自分を進むべき方向へ導いてくれる。そしてこれからは自分達が大樹になってほしい。
（Vol.7　H26 年 9 月発行同期会通信より(HP のみ掲載)）

●3 年 6 組　倉智久壽先生のお言葉（Q&A 形式）

◆現在はどのように過ごされているんですか？
ー　現在は農業に勤しんでいる。一昨年までは合鴨を入れて田んぼもやっていた（先生は農学部出身）。飯塚市川津のアルクカフェ（雑貨・飲食店）で、知人から依頼されて自分が作った農産物を出品・販売していたこともある。また、久山町の有名な飲食店でも依頼があって農産物（自家製野菜）を納入していたこともある。
◆嘉穂高校に赴任した時はどのような心境でしたか？
ー　40 期が 3 年生の時に田川高校から嘉穂高校に赴任してきた。やはり自分の学生時代と重なって、母校（先生は 11 期）に赴任できたことは嬉しかった。通勤が楽になったことも良かった。
◆先生は 40 期が 3 年の 2 学期に 6 組の担任になられましたが、その時の心境は？
ー　えっと思った。1 年生からならともかく、3 年生からだったので。受験システムに大きな変化がまだなかったので良かった（40 期卒業以降システムが大きく変わっているが、大変だったらしい）。
◆担任した時の 40 期の印象はどうでしたか？
ー　ちっとも変わらないなーと思った。なかなか元気が良くていいなぁと嬉しかった。一番目立ったのは応援団で、ますます活躍しているなぁと思った。自分たちの頃はそれほど前面

に立っていなかった。
◆40 期に関して、印象に残っていることはありますか？
ー　40 期での一番の思い出は、体育祭でかごに乗った吉永先生がロビンソン・クルーソーみたい（竹を組んだだけでのかごの上で、先生に釣り竿を持ってもらっていた）で、吉永先生もひょうひょうとやっていて、うまいことやったなぁと思った。
◆先生が 45 歳の頃はどんな感じでしたか(先生が担任だったのは 50 歳の頃らしい）？今の 40 期にメッセージをお願いします。
ー　田川高校にいたが、歳の経つのが本当に早いということだけが記憶に残っている。あっという間だった。一生懸命走り続けていたという感じだった。特別の記憶はないが、自分なりに頑張っていたから、無事に過ごせたと思う。
　40 期には、記憶に残るくらい何かをやり遂げられるように、その時その時を精一杯頑張ってほしい。
（Vol.7　H26 年 9 月発行同期会通信より(HP のみ掲載)）

●3 年 7 組　綾部義徳先生のお言葉

　3 年 7 組の担任だった綾部です。みなさん、いかがお過ごしでしょうか。
　私は現在、教職を退職し、自宅で穏やかに生活しています。
　みなさんが在学していたころは、大変忙しかったけれども、やりがいのある充実した日々を過ごしていました。
　大同窓会は、懐かしい同級生とたくさん話をしてほしいと思っています。私は都合により大同窓会には参加できませんが、皆さんが元気に活躍していることを祈念しています。みなさん、これからも頑張ってください。応援しています。
（Vol.7　H26 年 9 月発行同期会通信より(HP のみ掲載)）

●3 年 8 組　茶園美由記先生のお言葉

　第 40 期生の皆さん、3 年 8 組の女クラの担任、茶園です。
　26 年ぶりに、教え子の師岡さんから連絡をいただき、成長した
皆さんの立派な姿に接して、嬉しく涙が出そうなくらい感激しました。
　私は現在、仕事もやめ、家事やその他のささやかなことで毎日を送っています。
　嘉穂高にいた頃は、「熱い」生徒さん達に刺激を受けて、無我夢中で突っ走っていた気がします。私生活でもちょうど子育て中で、公私とも毎日が時間との闘いでした。今振り返って考えてみると、がむしゃらに日々を送っていたあの頃が、61 歳になってしまった私にとっては、キラキラ輝く青春そのものでした。
　女クラのみんなとセーラー服姿で合唱コンクールに出て、歌ったことは一生忘れないすてきな想い出です。
　今年は 40 期の皆さんがいよいよ当番となる、大同窓会が開かれます。たくさんの同窓生が集まってくださることを願っています。そして、女クラをはじめとして、多くの生徒さんに是非お会いしたいと思っています。
　あの頃は、皆さんの一人一人が主役でした。人生の折り返し点（？）にさしかかった皆さんの手で、もう一度主役の座を握りしめてみませんか。還暦過ぎのおばあさんの私も、負けずに主役を張り合いたいものです。

永遠に「熱い」青春の気概を持ち続けられる人は、きっと一生現役に違いありません。
26年の空白後に再会した夜、若者達のあたたかい言葉に触れた私は、そぼ降る雨の中で一人帰る道すがら、堪えきれずに思わず涙しました。それはまちがいなく、甘酸っぱい青春の涙だと確信しています。
皆さんとの再会を楽しみにしています。
（Vol.6　H26年6月発行同期会通信より）

●3年9組　大音俊和先生のお言葉（Q&A形式）

◆現在はどのような生活をされていますか？
ー　現在65歳になっており、仕事は福岡のほうで、私立高校で非常勤の教師として週に18時間程度授業を行っている。
◆嘉穂高校赴任当時はどのような状況でしたか？
ー　昭和56年に嘉穂高校に着任したが、当時は校舎が移転したばかりで、校舎以外に何もなかった。40期の担任をした当時は37･38歳ぐらいだった。2回目の担任だった。嘉穂高校では18年程度勤めた。今でも当時の教室の配置は覚えていて、3組、4組あたりはコモンホールのステージの裏で風が抜けなくて暑かった。
◆40期の印象はどうでしたか？
ー　学校全体の印象としては、自分の中では舟木一夫の「高校三年生」という歌に出てくるような感じの高校生という感じ。ビーバップハイスクールにでてくるような学生が出始めた時代でもあったので、元気がよく、茶目っ気があり、男はよく言うバンカラという感じで本当に高校生らしいと思った。教師としてやりやすかった。こちらがこれも教えたいな、あれも教えたいなと思えば教えられる状況だった。部活動も活発で、どこに対しても恥ずかしくない、胸を張れる学生だった。いい意味でプライドや自信を感じたし、表情が柔らかかった。
◆当時、印象的だったことは？
ー　応援団は印象的だった。ベルトは布だったし。新任の先生たちより応援団のほうが貫録があったように思えた。いい意味で自立していた。
◆嘉穂高校の生徒はどのような生徒ですか？
ー　もっともっと能力を引きだしてあげないといけないと思っていた。外部からみてみたときに、余計にそう思った。嘉穂高校は生徒が自信を持っている。これは先輩方から引き継いでいるものだと思う。これは最大の強みだと思う。40期より以前の生徒はいい意味で自由に放任されていて、高校4年生というのもよくあることのように思われていたが、いろいろと変化をし始めたのが40期以降だった。嘉穂高校には筑豊地区に与えるインパクトが非常にあった。
◆先生たち同志での思い出は？
ー　先生たち同志での大勢の集まりでは、松岡先生、塚本先生、今畑先生と一緒に、ほかの先生に気づかれないように途中で抜け出して、別の場所で落ち合って、4人でほかの店で再び飲み始めることがよくあった。
◆現在の40期へのメッセージ
ー　45歳ごろの自分はある程度仕事も落ち着いていたが、マンネリ化を感じていた部分があり、何か刺激がほしいと新たなことに取り組もうとしていたころだったような気がする。み

んなも頑張ってほしい。
（Vol.7　H26 年 9 月発行同期会通信より(HP のみ掲載)）

●3 年 10 組　今畑孝行先生のお言葉

嘉穂高校第 40 期生の皆さん、こんにちは。3 年 10 組担任の今畑です。

「こんにちは」と言うにはあまりにも長い時間が過ぎていて、思いが十分に表せないけど、本当に久しぶり！みんな元気でやってましたか？

先日、ありがたいことに、赤間実行委員会会長や広報委員会の皆さんなどから声をかけていただき、数人で一杯やりながら、あの頃に戻ったような夢のようなひと時を過ごしました。本当に楽しくてうれしかった。

あれから確実に 25 年の月日が流れ、赤間君はじめみんな中年若人（僕は高齢若人）としてはしゃいでいました。仲が良くて見事なチームワーク。きっと来年の同窓会総会もすばらしいものに仕上げていくんだろうなと頼もしい限りでした。

私にも高校時代からの悪友たち（通常、親愛の情をこめてこう表現しますが、僕の場合は文字通り悪友たち）がいて、えっ、また？というぐらい、示し合わせては一杯やっています。

いつも同じメンバー、同じ思い出話、同じタイミングで同じ笑い声・・・。それでも飽きずに集まっては、あの時代に戻って無理やり若返っているようなものです。でも、いいもんだよね、同窓生が集まるっていうのは。

赤間君たちとあった時もそうだった。みんなの生徒の頃の声や表情を思い浮かべながら、スーツの端っこを引っ張って黒板に象形文字を書いていた、まさにあの頃の僕に戻っていた。ちょっと恥ずかしくて体裁悪いけど、あの頃が私の青春だったような・・・。

40 期の皆さん、これから準備、そして来年の総会本番。いろいろあるでしょうね。大変だと思う。でもその一つ一つが、集まる全ての人たちと君たち自身に喜びをもたらすことになる。力を合わせてやり遂げてください。そして、当日は一人でも多く、それぞれのあの頃に会いにおいでよ、いいね。
（Vol.5　H25 年 11 月発行同期会通信より）